



学校だより

Jobu Junior high school

茅野市立  
東部中学校

# 信頼を築く 学校

令和5年度 文責 濱 喜一郎

発行日 7月25日

## 一学期終業式 校長講話

本日、令和5年度の一学期が終了します。

この一学期は、みなさんにとって、どんな学期になったでしょうか。この一学期中に大きな社会的な出来事がありました。それは、これまでの3年以上に及ぶ、いわゆる「コロナ禍」に大きな変化が起こったことです。五月に新型コロナウイルスの扱いが大きく変わりました。扱いが大きく変わったといっても、コロナウイルスがなくなったわけでもなく、感染力が急に弱くなったわけでもありませんので、感染症への対策は、自分や周りの人の健康を守るという意味でも、今後も意識を高くしていく必要がありますが、感染者数が大分落ち着き、扱いが変わったことで、これまで「コロナ禍」ということで制限されていたこと、我慢したり、ときにはあきらめたりしなくてはならなかったことが大分以前の状態に戻っていきました。

学校生活でも、4年ぶりに1年生の尖石での自然体験学習が一泊二日で行うことができました。これまでは、中止、できても日帰りでした。また、部活動も、4年ぶりに保護者の方の応援、観戦が制限なしとなりました。コロナ禍の間は、部員であっても選手以外は会場には入れない、保護者の方が観戦できないということもありました。また、コロナ禍が始まった3年前は、中体連の大会やコンクール自体がなくなってしまいました。1年生のときからずっとがんばってきた部活動や様々な活動の最後のまとめの場や晴れの舞台が突然なくなってしまったのです。その切なさや苦しさは、どれほどのものだったでしょうか。みなさんもここまで生活を送ってくる中で、コロナ禍の苦しさ、切なさを様々経験してきましたね。

今ここで、私たちが大切にしたいことは2つあると考えます。

1つは、その様な状況の中でも、あきらめて終わりにするのではなく、何かできる工夫はないか、自分たちの思いを実現する方法はないかと様々に考え、チャレンジしてきた先輩達、そして自分たちの経験を今後活かしていくということです。「元に戻ってきたからいいや」ではなく、これまでの経験を活かし、それぞれの活動を更に充実したものにしていきたい、そう思っています。

もう1つは、一見「当たり前」と感じる日常の生活のなかにある「幸せ」を感じ、見つけ、そして、さらに生み出していくことです。今年度の重点は、「幸動」としました。これまでも幾度か話をしてきましたが、「幸せ」になるために、私たちみんなは生きているのです。学校で学ぶことの目的は、みなさんが幸せになるための力をつけることです。そして、「幸せ」というのは、よく私たちは、大きなものを考えてしまう傾向がありますが、「うれしいな」「ありがたいな」「きもちいいな」「あたたかいな」「ほっとするな」等々、毎日の生活の中で感じられるそんなちょっとしたことも本当に素晴らしい「幸せ」なのです。先程コロナの話をしました。今、こうして、以前のように、当たり前のことが「普通」にできている、そんななんでもないような毎日が「幸せ」とも言えるでしょう。

この一学期に、みなさんは、どんな幸せを経験しましたか、手に入れましたか。そして、同時に、このことも考えてみてください。「自分は誰かの幸せのために自ら動」くことはできたでしょうか。これは3年生の廊下に貼ってある言葉ですが、一人一人が自分と、みんなの幸

誰かの幸せのために  
自ら動ける学年になろう

せのために、自分から行動することができたら、本当に、素敵なことだと思います。私も、昨日より今日、今日より、明日、そんな生活が送れるよう、頑張りたいと思います。

一年生は、初の中学校生活で大きく成長しました。様々な「初めて」のあったこの一学期を振り返りながら、中学校生活初の夏休みを、小学校の時とは一味違うものとしてください。二年生は、クラス替えをしてスタートしました。しっかりと学級づくり、学年づくりに取り組むとともに、先輩としてのいい姿を見せてくれましたね。夏休みは、まずは登山ですね。これも4年ぶりに一泊二日となります。がんばりましょう。自分の足でそこに行かなければ感じられないものを、たくさん感じてきましょう。そして夏休みは、中学校生活のちょうど半分、折り返しとなります。自分の中学校生活の「これまで」と「これから」をしっかりと考えて、よい後半へのスタートを切るための夏休みにしてください。三年生は、最高学年として、様々な場面でこの東部中をリードしてきてくれました。頼もしい、立派な最高学年としての姿をたくさん発揮してくれました。いよいよ進路決定に向けていろんなことが本格的になるときですね。精一杯に自分と向き合い、夏休みを充実させてください。中学校生活、義務教育最後の夏休みでもあります。今までの夏休みで、一番充実した、そして楽しかったと思える夏休みにしてください。

最後に一番大切なことを伝えます。もう、ニュース等でも毎日話題になっていますが、この夏は、全国で「水」の事故が多発しています。そして、交通事故も。一つしかない命を大切にしてください。事故に遭う人は、その日の朝、「今日は事故に遭うかもしれない」とは、思っていないのです。しかし、事故に遭ってしまうのです。慎重に行動しましょう。少しでも「これまずいな」と思うときには、冷静に、命を守る判断をしてください。みなさんがこの夏休みを健康で安全に過ごすことが、何よりも大切なことです。

さあ、夏休みが始まります。一学期、よく頑張りましたね。明日から始まる夏休みを、自分とみんなの幸せのために、自分から行動する夏休みにしてくださいね。

## 使ってみよう！ 「eライブラリ」

家のパソコンやタブレットで「eライブラリ」を検索すると、「家庭版 - ラインズ eライブラリ アドバンス」が見つかります。そのサイトに入り、「ログイン画面」で「学校コード」に「**22186493038**」を入力、そして、「ログインID」と「パスワード」に、配られた自分の「ログインID」と「パスワード」を入力するとログインできます。ログインすると、様々な教科の様々な分野の問題や解説を使用することができるようになります。まずは慣れることが大切ですので、いろいろ使ってみましょう。「解説」はその教科の内容について説明をしてくれます。「ドリル」は様々な問題があり、採点をしてくれます。**今までの復習を、好きなところから行えます。小1から中3まで、どこからでもできます。**これだけでできて、もちろん無料です！この夏休みに、ぜひ、使ってみましょう。まずは楽しむつもりでやってみよ

### 保護者の皆様へ

本日で一学期が終了しました。保護者の皆様におかれましては、日々、様々な場面で本当に多くのお支えをいただきました。この一学期間に賜りました多大なるご理解とご協力に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。明日から夏休みとなりますが、生徒にとりまして有意義な休みとなりますよう、これまで同様にご指導よろしくお願い申し上げます。

夏休み中に学校または、学校職員と連絡を取る必要が生じた場合は、週休日、および8/10(木)~16(水)につきましては、市役所(72-2101)に連絡をお願いいたします。これ以外の日は、学校に当番がおりますので、学校に連絡をお願い致します。

生徒同様に、保護者の皆様にとりましても、安全、健康でよい夏となりますことを祈念いたしております。

生徒に関すること、スクールソーシャルワーカー(SSW)、スクールカウンセラー(SC)への相談等ご希望がありましたら、お気軽に学校までご連絡をお願いします。また、「育ちあいちの」へ相談は随時行えます。ぜひ、ご利用ください。

茅野市立東部中学校  
濱 喜一郎(校長)  
〒391-0011 茅野市玉川 10030  
電話 79-5050 Fax 79-5242